大和IR様主催個人投資家向けオンライン会社説明会
2021年12月15日

昭和電工の今そしてこれから

～世界トップクラスの機能性化学メーカー実現へ～

昭和電工株式会社
（東証一部　4004）

染宮　秀樹

ご説明内容

1.昭和電工の概要

2.昭和電工マテリアルズ（旧日立化成）との統合

3.統合新会社の長期ビジョン（2021～2030）

4.サステナビリティ

〔ご参考〕

主要業績推移
身近な当社製品　情報家電製品
株主メモ
IRホームページご紹介

本資料の注意事項につきましては、35ページを参照下さい。

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

会社概要

設立　**1939年（昭和14年）6月**
日本電気工業と昭和肥料の合併により設立

決算期　**12月期**

上場市場　**東証第一部（4004）、化学**
「日経225」「JPX日経インデックス400」構成銘柄

・2020年12月期実績（連結ベース）

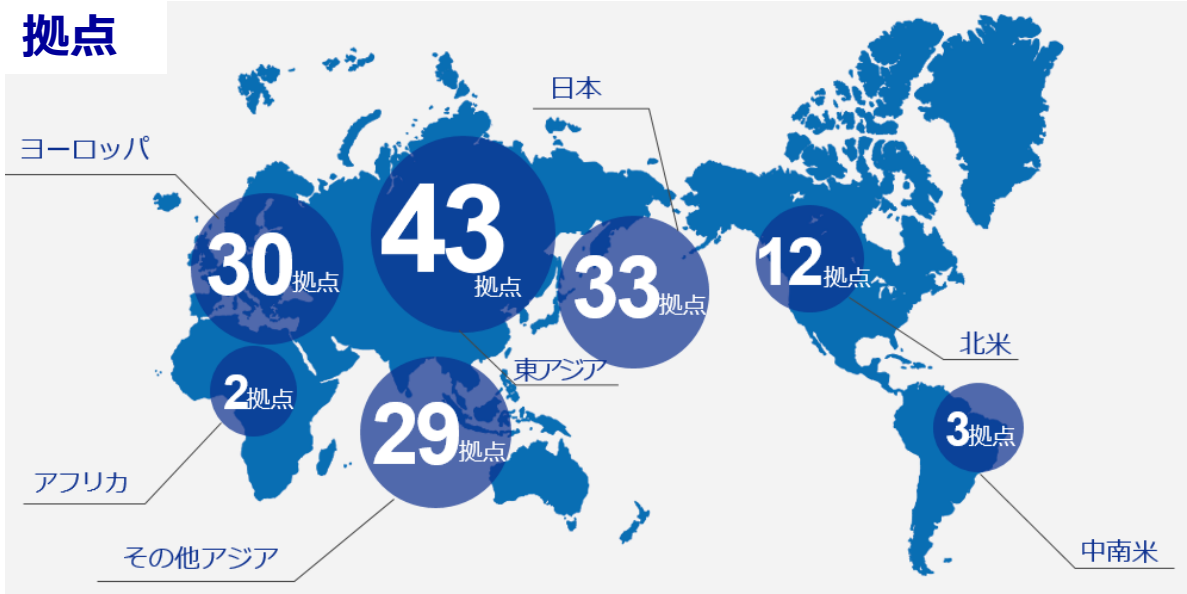
売 上 高　**9,737億円**

総 資 産　**22,036億円**

資 本 金　**1,406億円**

従業員数　**33,684名**

拠点

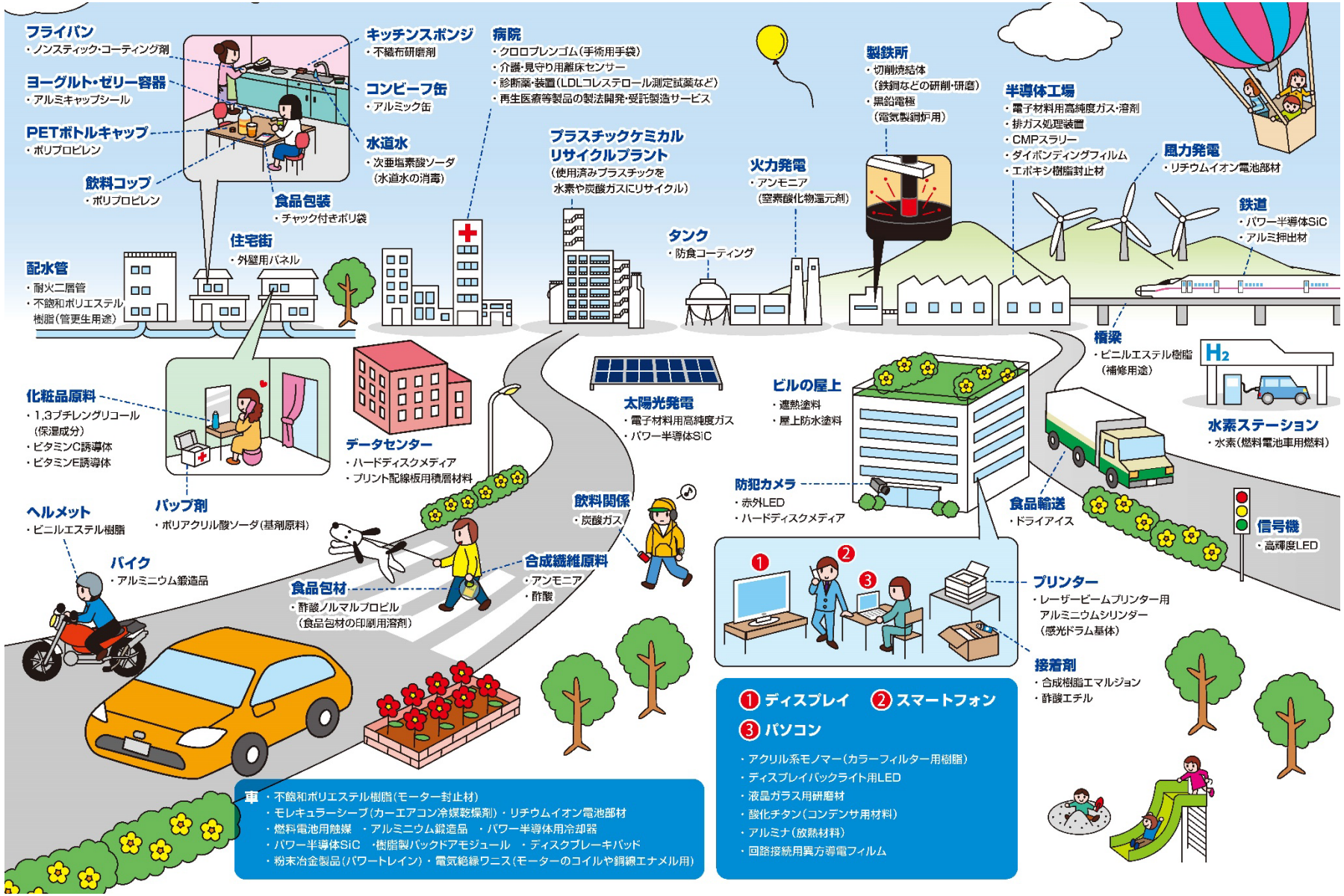


グループ経営理念

私たちは、社会的に有用かつ安全でお客様の期待に応える製品・サービスの提供により
企業価値を高め、株主にご満足いただくと共に、
国際社会の一員としての責任を果たし、その健全な発展に貢献します。

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

身近な昭和電工グループ製品



営業利益推移

2017年に黒鉛電極事業を買収、4Qから連結
（2018年は通期寄与と、中国で違法製鋼の取締強化を受け、黒鉛電極需要ひっ迫）
2020年に（旧）日立化成（現 昭和電工マテリアルズ）を買収、3Qから連結

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

ご説明内容

1.昭和電工の概要

2.昭和電工マテリアルズ（旧日立化成）との統合

3.統合新会社の長期ビジョン

4.サステナビリティ

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

昭和電工マテリアルズとの統合(1)

高い親和性と強い補完関係を有す両社の統合により、
エンドユーザーにとっての**ワンストップ型先端材料パートナー**となり、
製造業を超えたソリューション提供カンパニーへ

ハードウェア

素材 → 配合・分散・添加・処理 → 設計・評価・コンサル → 組み立て → アプリケーション → サービス

これまで

素材サプライヤー
素材開発
解析技術

部材・材料サプライヤー
構造設計
解析技術
成形技術

部材サプライヤー
モジュール設計
製造プロセス設計
試作・試験

ODM
EMS

自動車、
電機・電子機器 等

最終製品メーカー

これから

昭和電工 × 昭和電工マテリアルズ

昭和電工
幅広い素材に対する
素材設計技術・素材解析技術
異素材接着技術

昭和電工マテリアルズ
素材特性を生かした材料設計から、
機能評価、モジュール部品化を含む
プロセス技術に至る機能設計力

ワンストップ型先端材料パートナー

GAFA、
自動車、
電機・電子機器 等

Digital
5G
次世代Mobility

昭和電工マテリアルズとの統合(2)

技術の融合と強化を通じて市場に幅広い機能を提供し続け、
新たな事業を自ら育成・創出していく"自律的なポートフォリオ変革"を実現

事業の
育成・創出

ライフサイエンス | エレクトロニクス | モビリティ | デバイスソリューション | 石油化学 | カーボン

機能の発現		・・・	微細加工	高速研磨低スクラッチ	低誘電	機能	熱マネジメント	軽量化	薄膜化	・・・		
混ぜる化学		・・・	細胞培養・製剤	界面・表面制御	アプリケーション技術	混練・分散	材料加工	フォーミュレーション	・・・			
作る化学	基盤事業中心		・・・	無機	素材技術	ポリマー	アルミ合金	・・・				
考える化学		・・・	機械構造解析	有機・高分子解析	構造解析	評価・シミュレーション技術	計算科学	量子化学計算	分子動力学計算	AI[1]	MI[2]	・・・

技術融合による新たな機能提供

事業を通じた技術強化

：昭和電工主体　：昭和電工マテリアルズ主体

1. AI = Artificial Intelligence (人工知能)　2. MI = Materials Informatics (マテリアルズ・インフォマティクス)

2023年の法人格統合までのロードマップ

2022年1月に1年前倒しで経営組織体制統合
2021年7月から実質統合を開始、8月に本社統合を完了

2021年4月
合同経営会議

2021年7月～（=Day2）
情報共有基盤の統合開始
実質統合開始

2022年1月（=Day3）
実質統合完了
経営組織体制統合

1年前倒し

2023年1月（=Day4）
法人格統合
経営組織体制統合

2月16日 機能材料事業本部設置準備室発足

7月1日 事業本部設置準備室、
グループCXO設置準備室発足
8月上旬 本社オフィス統合を完了

「世界で戦える会社」、「持続可能なグローバル社会に貢献する会社」に進化するための歩みを加速

9月 社長発表、12月 新執行体制発表
昭和電工・昭和電工マテリアルズの両社経営陣を一本化することとし、統合並びにグループの経営推進を加速

ワールドクラスの経営に向けた経営組織を早期に整備

昭和電工/昭和電工マテリアルズの法人格を完全統合

統合に向けた構造改革

短中期の取り組みとして、事業ポートフォリオの再編、
収益体質の改善・資産スリム化、組織の完全統合を確実に実行していく

事業ポートフォリオ再編

- 当初計画から前倒し
  - アルミ缶、アルミ圧延品事業
  - 昭光通商株式譲渡
  - 食品包装用ラップフィルム事業
  - プリント配線板事業
  - セラミック事業
  - 蓄電デバイス・システム事業

収益体質の改善/資産スリム化

- 統合を踏まえた直接/間接コストの削減
  - 2021年まで累計150億円（顕現＋予想）
- 運転資本改善、有価証券の売却 等（2021年までに500億円を見込む）
  - 2020年に730億円達成

組織統合

- 2021年に組織を実質統合
  - 8月本社統合完了
- 2023年に法人格を完全統合

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

統合へ向けた財務施策

	新株式発行および株式売り出し	社債発行
目的	「エレクトロニクス」、「モビリティ」、「ライフサイエンス」領域への成長投資前倒しのための資金調達	旧日立化成株式TOB時に調達したノンリコースローンの一部返済
内容	財務状態への影響 ・手取概算額：824億円※1 ・発行済み株式数：184,901,292株※1 ・資本金および資本準備金増加額： 831億65百万円※1 (自己資本比率＋3.0%※2) ・ネットD/Eレシオ（2021年12月末見通し） 1.67倍（8月予想）→1.31倍※3（最新）	・3年債/5年債/7年債/10年債を発行 ・社債発行日： 12月2日

	発行額	利率
3年債	300億円	0.040%
5年債	200億円	0.200%
7年債	50億円	0.300%
10年債	450億円	0.550%
合計	1,000億円	–

※1 10月払い込みの第三者割当増資分含み
※2 21/9末時点の資本金・資本剰余金に、10月払い込みの第三者割当増資分を加えて算出
※3 8/10公表値をベースに、本調達金額を現金及び預金・株主資本に加えて算出した参考値

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

ご説明内容

1.昭和電工の概要

2.昭和電工マテリアルズ（旧日立化成）との統合

3.統合新会社の長期ビジョン（2021～2030）

4.サステナビリティ

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

統合新会社の存在意義・目指す姿

統合新会社の存在意義（パーパス）

化学の力で社会を変える

先端材料パートナーとして時代が求める機能を創出し、
グローバル社会の持続可能な発展に貢献する

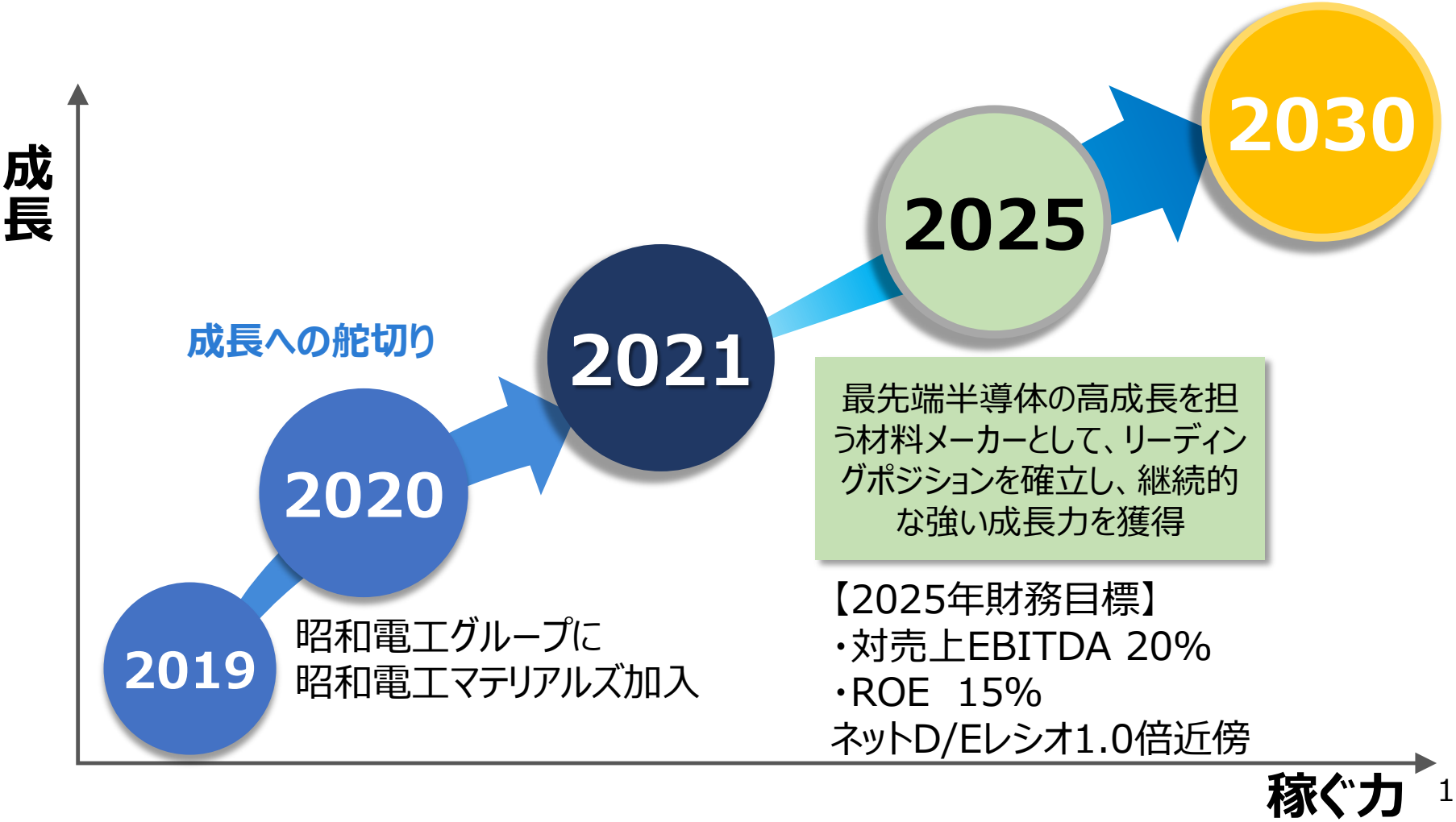
統合新会社の目指す姿

「世界で戦える会社」
「持続可能なグローバル社会に貢献する会社」

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

2030年までのロードマップ

2030年に目指す姿**「世界で戦える会社」**、**「持続可能なグローバル社会に貢献する会社」**を実現し**「世界トップクラスの機能性化学メーカー」**へ



統合後の事業ポートフォリオ

4つの事業群がそれぞれに役割に応じた高い競争力を有し、基盤事業の技術・素材を中心としたシナジーで市場に機能を提供

新領域のM&A等による事業取込み

：昭和電工主体　：昭和電工マテリアルズ主体

安定収益事業

安定した利益を稼ぎ、全社としての投資資金を捻出する収益基盤

- デバイスソリューション(ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ)
- カーボン
- 産業ガス
- 石油化学
- 基礎化学品
- 電子機能材

次世代事業

次世代の柱へ育成すべく事業性を検証しながら投資を推進

- ライフサイエンス

コア成長事業

今後大きく成長を狙う事業に積極的に投資

- エレクトロニクス
- モビリティ

基盤事業（技術・素材）

コア成長・次世代事業のイノベーションを支える技術プラットフォーム事業

- セラミックス
- 機能性化学品(樹脂等)
- アルミ機能部材
- コーティング

【2020年売上高（制度会計ベース）】

全社計
9,737億円

コア成長事業(１) 半導体材料-1

市場見通し	一定の技術開発方向性の中で、**継続的な技術革新**と**市場成長**が続く公算が高い	競争環境	プレイヤーの立ち位置が定まり、今後**再編**の可能性はあるが**急激な業界構造変化・新規参入は起こり難い**

当社ポジションと戦い方

トップポジションと**拡充した技術力**で市場成長を取り込む

- 最先端製品を開発し続け、ワンストップソリューションを提供
- 前工程・後工程を幅広くカバーする製品群の提供により競争力のある事業を展開し、当社の成長を牽引

	半導体の製造プロセス	昭和電工グループの主要製品
前工程	**成膜**	**電子材料用高純度ガス**
	フォトレジスト塗布、露光	
	エッチング	**電子材料用高純度ガス**
	フォトレジスト除去	
	CMP	**CMPスラリー**
	洗浄	
後工程	**基板**	**銅張積層板、感光性フィルム、ソルダーレジスト**
	再配線層形成	
	ダイシング	
	ダイボンディング	**ダイボンディング材料**
	ワイヤボンディング	
	モールド	**封止材**

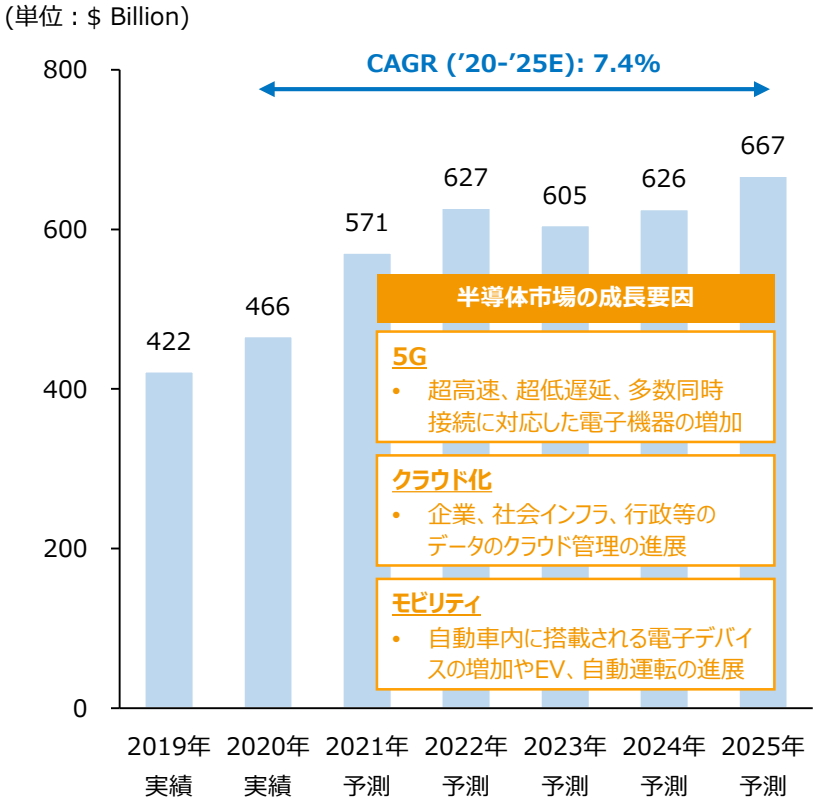
シェア3位以内の製品による売上が全体の約85%

コア成長事業(１) 半導体材料-2

半導体の前工程における**微細化**、後工程における**2.x/3次元実装化**の進展で、半導体材料への**技術的要求が高度化**

→当社の強みのある半導体材料は**使用量が加速度的に増加**し、半導体市場成長以上の成長を実現

半導体 市場見通し



半導体材料の技術トレンド

半導体製造：前工程

技術的進化（**微細化**）

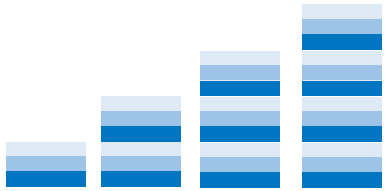
※ロジックの微細化イメージを表す

前工程材料

求められる技術的要求	要求に対応する当社の製品
微細研磨	CMPスラリー(ナノセリアスラリー)
微細加工(エッチング)	電子材料用高純度ガス
溶媒の品質改善	高純度溶剤

半導体製造：後工程

技術的進化（**2.x/3次元実装化**）



※2.x/3次元実装化のイメージを表す

後工程材料

求められる技術的要求	要求に対応する当社の製品
密着性・解像性	感光性フィルム
誘電特性・低そり性	銅張積層板
信頼性	ダイボンディング材料

出所： Charts created by Showa Denko based on Gartner research. Gartner, Semiconductor Forecast Database, Worldwide, 2Q21 Update, 30 June 2021.

コア成長事業(２) モビリティ

市場見通し	潮流変化の中で**確実性の高い領域**と**不確実性の残る領域**が存在
競争環境	複数の素材メーカーが存在、**トップポジション争いはこれから**

当社ポジションと戦い方

確実と不確実をポートフォリオでマネジメント
- 軽量化・電動化のトレンドを捉えた事業を展開
- 電動化では、パワートレインの不確実性にも備える

	今後の潮流変化	昭和電工グループとして取り組む主な事業	
確実性の高い変化	軽量化	**地球温暖化ガス削減**のために**車体軽量化**の流れが継続	マルチマテリアル・大型一体成形モジュール → **樹脂一体成形**の**バックドアモジュール**を基軸に**マルチマテリアルによるソリューション**を提供
不確実性の残る変化	電動化	**各国政策**の影響を受け**電動化**が進行 • 各パワートレインの浸透見通しは不透明 HV[1] → Siパワーデバイス[2]向け熱マネジメント FCV[1] → SiCパワーデバイス[2]向け熱マネジメント EV[1] → リチウムイオン電池向け材料	パワーモジュールメーカー向け中心に**耐熱・放熱性に優れた素材の組み合わせをパッケージで提案** SiCパワーモジュール拡大の際には、SiCの能力を引き出す熱マネジメント素材パッケージも提案 EV化を見据え**高機能負極材**などを展開

1. HV = Hybrid Vehicle (ハイブリッド自動車)、FCV = Fuel Cell Vehicle (燃料電池自動車)、EV = Electric Vehicle (電気自動車)　2. Si = シリコン、SiC = シリコンカーバイド

次世代事業　ライフサイエンス（再生医療）

市場見通し	市場拡大は**確実**も、拡大の時間軸やセグメントの**見立てには幅**
競争環境	**当社含む先行者が存在**しているがプレイヤーは**まだ出揃っていない**

当社ポジションと戦い方

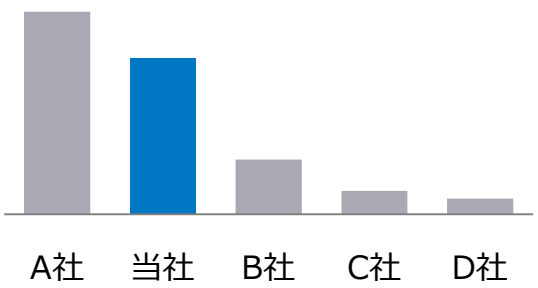
先行者優位を活かして成長を取り込む

- 足元の競争優位を活かして早期に投資回収を進める
- 変化を捉え優位性構築可能なセグメントを見極める

グローバルトップクラスの受託実績・ノウハウ

自家・他家/治験・商用/幅広い細胞種でグローバルトップクラスの実績

累積受注実績 (2019年/品目数)



中長期の差別化・競争優位の源泉となる多彩な要素技術活用のノウハウ蓄積で先行

グローバル生産体制

北米・欧州・アジアに拠点を持ちグローバルでのサービス体制を実現

受注獲得のアドバンテージとなるグローバル3拠点を活用し早期の投資回収を進行

先行的な製造技術開発

他社に先駆けて自動化・大量培養技術の開発・導入を進行

今後予想されるコストイノベーションに先行着手し、持続的な競争優位性を獲得

出所：当社調べ；Sartorius社HP

基盤事業、安定収益事業

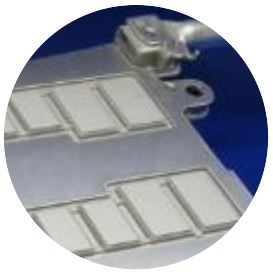
基盤事業

無機・有機・アルミなどの幅広い技術や素材を有し、他の３つの事業群のイノベーションや競争力強化を支える**技術プラットフォーム**として貢献する事業

主要事業

無機

有機



アルミ

コーティング

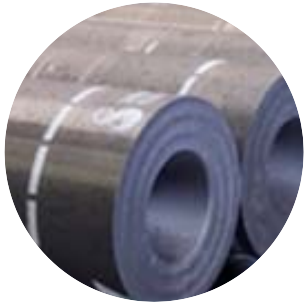
安定収益事業

競争環境の落ち着きつつある市場において**競争力・高シェア**を有し、安定した収益を上げ、投資資金を捻出する収益基盤

主要事業

デバイスソリューション

ハードディスク：最先端技術により世界No.1専業メーカー



黒鉛電極

高品質・コスト競争力により世界No.1

石油化学

東アジアでの高い存在感
高シェアの誘導体群

＊シェアは当社調べ

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

長期数値目標

企業価値向上の総合指標である TSR (Total Shareholders Return) を設定

2025年の長期数値目標として、EBITDA 20%、ROE 15%を設定し、ネットD/Eレシオは1.0倍に近づけることを目指す

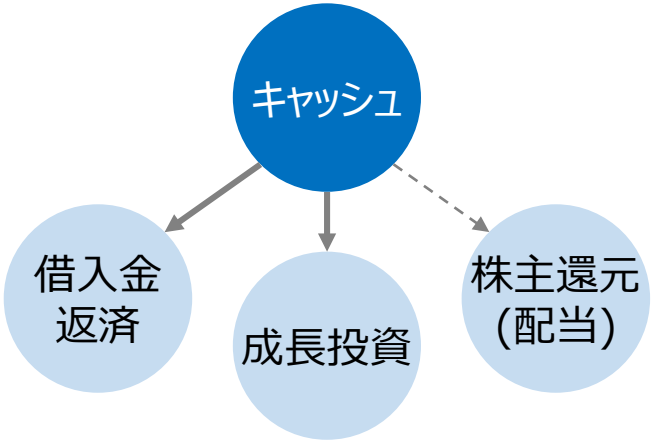
		2020[2]	2021予想[3]	2025	2030
TSR	(%)	中長期的に化学業界で上位25%の水準を目指す			
売上[1]	(兆円)	0.97	1.4	1.6	1.8~1.9
EBITDA[1]	(億円)	△194	2,025	3,200	
対売上EBITDA%	(%)	6.0%	14.5%	20%	
ROE	(%)	△16.9%	-	15%	
ネットD/Eレシオ	(倍)	1.8	1.3	1.0倍に近づける	

1. 今後の事業売却を考慮しない場合の目安値; 2. 制度会計ベース（昭和電工マテリアルズの売上高・損益は2020年7月より取り込み）; 3. 8月3・10日公表。但し、ネットD/Eレシオは、8月10日公表値をベースに新株発行による調達金額を現金及び預金・株主資本に加えて算出した参考値。

株主還元方針

**当面はネットD/Eレシオを1.0倍に近づけることと必要な成長投資を優先しつつ
可能な限りの安定配当に努め、その後、中長期的に改めて総還元性向30%を目指す**

キャッシュ分配の優先順位



統合後の状況に鑑みると、
借入金返済と利益拡大に向けた
成長投資をある程度優先させる
必要がある状況

中長期的な株主還元方針

- 当面は借入金返済を進めて**ネットD/Eレシオを1.0倍に近づける**ことと成長事業への投資を優先し、その間は可能な限りでの安定配当に努める
- 中期的にネットD/Eレシオを1.0倍に近づけ、一定の事業成長を成し遂げた後、あらためて**総還元性向30%を目指す**

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

ご説明内容

1.昭和電工の概要

2.昭和電工マテリアルズ（旧日立化成）との統合

3.統合新会社の長期ビジョン（2021～2030）

4.サステナビリティ

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

サステナブルな社会への貢献

統合新会社として多様な技術・事業を通じてSDGsに貢献し、ESGへの取組みをより一層強化

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

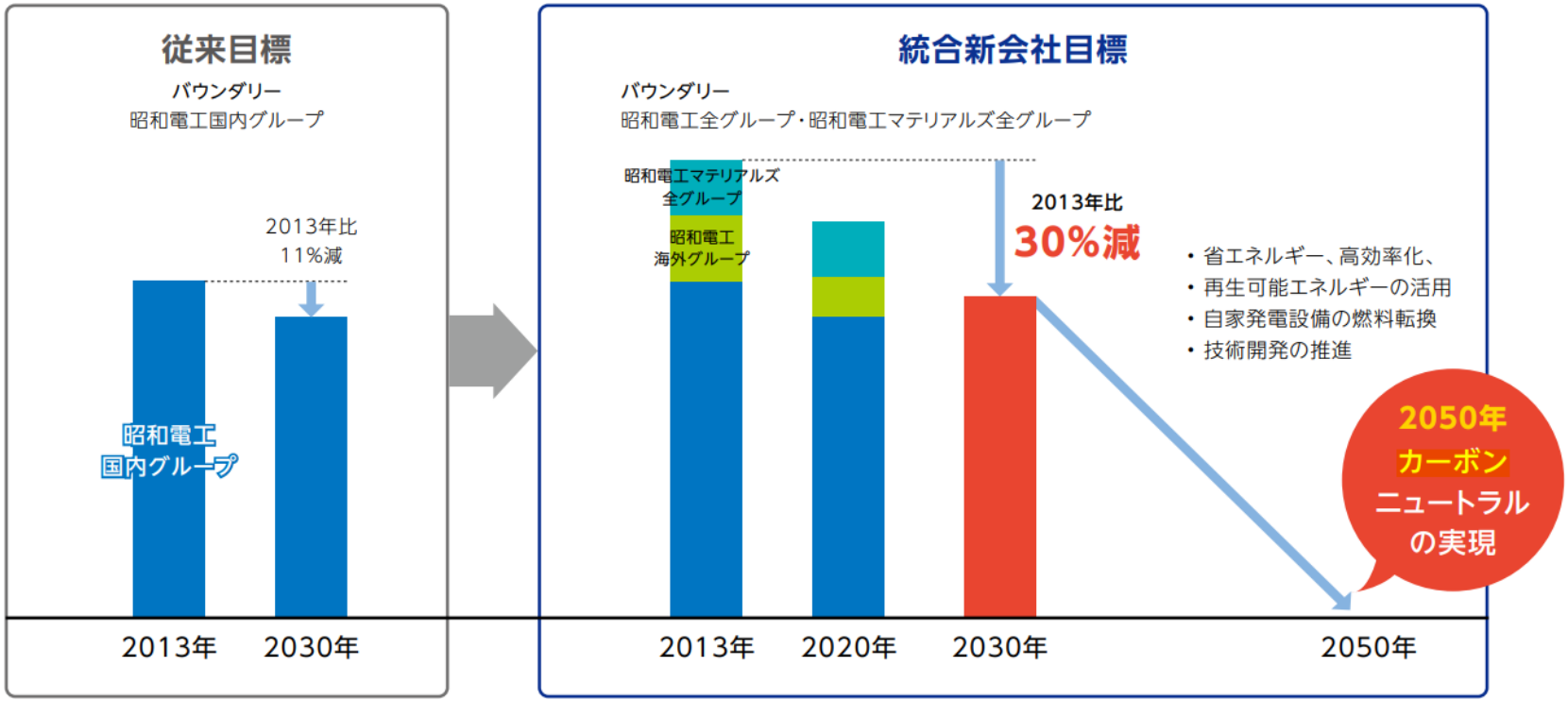
カーボンニュートラルへの挑戦（１）

GHG排出削減（2021年7月設定）：

2030年度までに基準年2013年比**30%削減**（従来目標:基準年比11%減）

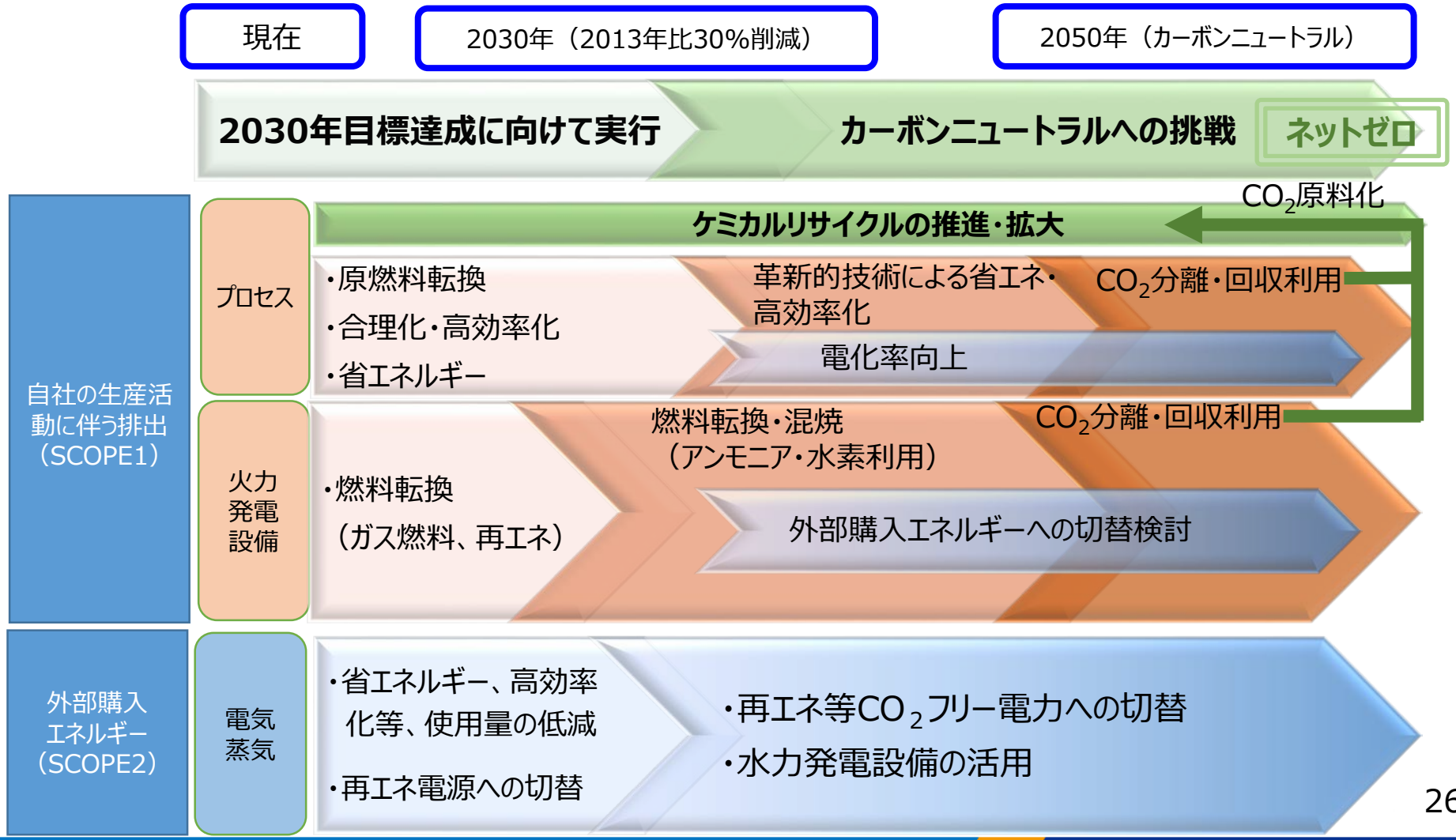
バウンダリー見直し：

昭和電工国内グループ → 昭和電工全グループ・昭和電工マテリアルズ全グループ



カーボンニュートラルへの挑戦（２）

2030年までは原燃料転換、省エネルギー等により低炭素化、2050年までにGHG分離回収利用技術、プラスチックケミカルリサイクルの推進によりカーボンニュートラルに挑戦



サステナブルな社会への貢献：事例(1)

SHOWA DENKO

■ **事例1：プラスチックケミカルリサイクル**　使用済みプラスチックの化学原料リサイクル事業

製造工程で発生する二酸化炭素をドライアイス等に リサイクルするなど副生物も資源として有効活用

地方自治体から引取

使用済
プラスチック

水素製造設備

CO_2

CO_2を
製品活用

炭酸製品

液化
炭酸ガス

ドライ
アイス

経済活動での
エネルギー利用

水素

アンモニア製造設備

水素ステーション・
商業施設への供給

アンモニアの主な用途

NOx
無害化剤

窒素系
肥料

繊維原料

接着剤・
樹脂原料

使用済みプラスチックを原料に
ゼロエミッションを実現

エコなアンモニアで火力発電所のNOxを無害化

エコマーク認定
プラスチック製容器包装リサイクルによるアンモニア製造プロセス
15504001
昭和電工川崎事業所

貢献
SDGs例

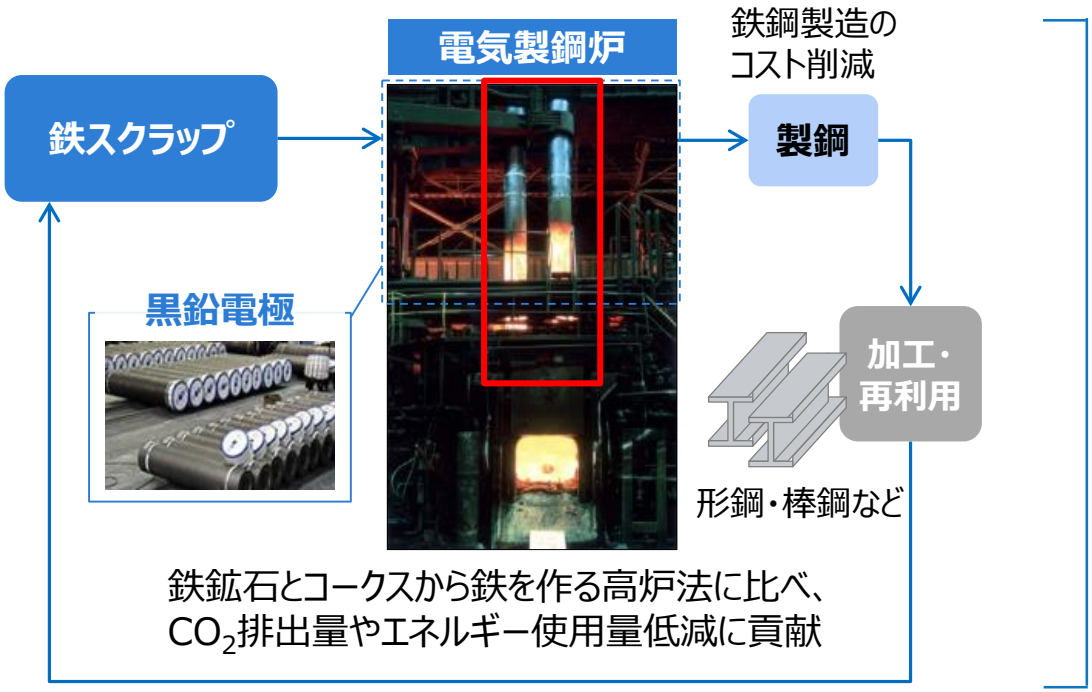
【これから】
プラスチックや種々の有機化学品の原料となる**エチレン**や**プロピレン**を、
現在の石油由来のナフサではなく、**廃プラスチックの分解物**から製造する
検討を推進

サステナブルな社会への貢献：事例(2)

■ **事例2：黒鉛電極**　鉄スクラップを溶融する電炉用電極

貢献 SDGs例

当社は、高品質な黒鉛電極の提供、AI技術などで電炉操業技術の高度化をサポート



鉄をリサイクルして新たな命を吹き込む

黒鉛電極

電気製高炉では、黒鉛電極とコネクターを接続して使用する。３本を直列に接続して使用する事が多い。

【これから】 大町事業所（長野県）を中心とする取り組み

- **大町電力ニュートラルからマイナスへの挑戦**（事業所電力消費量を水力発電量以下へ）
- 水力発電活用による大町水利システムの安定運用への寄与
- 原材料・石油残渣利用、グリーン購買
- フォークリフト・社有車のHV、EV化による工場内輸送・移動時のCO_2削減

外部からの評価

■当社が採用されたESG（環境・社会・ガバナンス）インデックス

2021 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

FTSE4Good

2021
Sompo Sustainability Index

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

FTSE Blossom Japan

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

■ダイバーシティ、環境への取り組みへの評価

しるみて

2021
健康経営優良法人
Health and productivity

DBJ BCM格付
2017
M M M
（最高ランク格付取得）

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

本日お伝えしたかったこと

①昭和電工は、電気化学にルーツを持ち、1939年の設立以来、無機化学・有機化学・金属材料技術へと発展し、情報通信産業、自動車産業向けの素材・部材、生活に必要な様々な製品を製造してきました。
これまではHDなどの**エレクトロニクス**分野、**黒鉛電極事業**が成長をけん引。

②現在、昭和電工マテリアルズとの**2023年の法人格統合**を目指し、事業売却などの**事業ポートフォリオの改革**、成長分野への投資のための資金調達など様々な取り組みを推進しています。

③統合により、川中の素材技術と川下のアプリケーション技術を併せ持つ企業グループとなり、**エレクトロニクス（半導体材料）**、**モビリティ**の成長事業と基盤事業の「**染み出し**」によるグループの総合力強化を図り、**先端材料パートナー**として時代が求める機能を創出し続け、持続可能な社会に貢献していきます。

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

ご参考：主要業績推移

(億円)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017*1	2018	2019	2020*2
経営計画	ペガサス			ペガサスPhaseⅡ		Project 2020＋			The TOP 2021	
売上高	8,542	7,397	8,478	8,728	7,757	6,712	7,804	9,921	9,065	9,737
営業利益	474	281	260	206	335	421	777	1,800	1,208	△194
経常利益	400	234	235	217	321	387	639	1,788	1,193	△440
親会社株主に帰属する当期純利益	170	94	91	29	9	123	374	1,115	731	△763
ROA*3	5.1 %	3.0 %	2.7 %	2.1 %	3.4 %	4.5 %	7.9 %	17.1%	11.2%	△1.2 %
ROE	6.9 %	3.6 %	3.2 %	1.0 %	0.3 %	4.1 %	11.5%	27.9%	15.5%	△16.9%
有利子負債残高	3,473	3,423	3,537	3,831	3,688	3,599	3,467	2,880	2,985	10,601
D/E レシオ*4	1.17倍	1.09倍	1.02倍	1.20倍	1.20倍	1.16倍	0.94倍	0.62倍	0.36倍	1.84倍
1株当たり配当金*5	3円	3円	3円	3円	3円	30円*6	50円	120円	130円	65円

*1:2017年実績は、2017年12月期第4四半期に行った黒鉛電極事業の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い、遡及修正した金額に変更しております。*2:2020年第3四半期期首より昭和電工マテリアルズの売上高及び損益を取り込んでおります。 *3:ROA＝営業利益÷総資産 *4: 2018年まではグロス、2019年以降はネット。 *5:2016年7月1日付で普通株式につき10株を1株とする株式併合を行いました。*6: 2017年6月27日に開催する株主総会において2017年5月11日を基準日とする1株当たり30円の配当を決議しました。

〔ご参考〕

身近な当社製品 情報家電製品

ハードディスク

ノートパソコン、パソコン、
データセンター、監視カメラ、
HDDレコーダー、カーナビ等に使われる

電子材料用高純度ガス

フラッシュメモリー／SSD製造時に用いられる

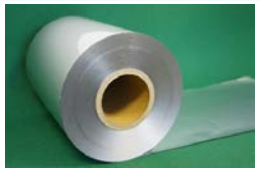
コンデンサー用酸化チタン

パソコンや携帯電話などの電子機器に多く用いられる積層セラミックコンデンサーの主要部材の原料に使われる

ハードディスク
ドライブ

リチウム
イオン電池

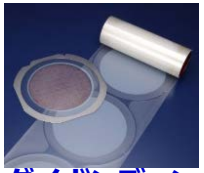
■昭和電工製品、■昭和電工マテリアルズ製品



リチウムイオン電池用包装材料

（アルミラミネート包材）

携帯電話やパソコンのリチウムイオン電池を保護する



ダイボンディング材料

ＩＣチップをリードフレーム、パッケージ基板などに接着するために使用

CMPスラリー

半導体回路形成工程で生じた、絶縁膜や配線層などの凹凸を平坦化するために使用

銅張積層板

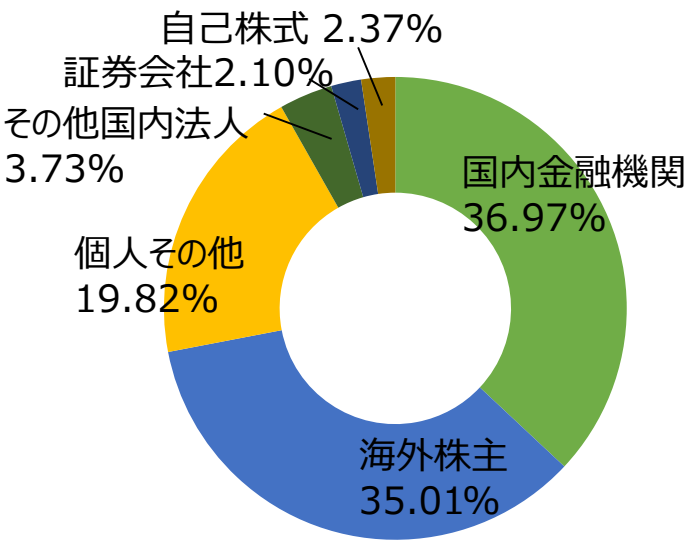
プリント配線板や半導体パッケージの基板に使われる

ご参考：株主メモ

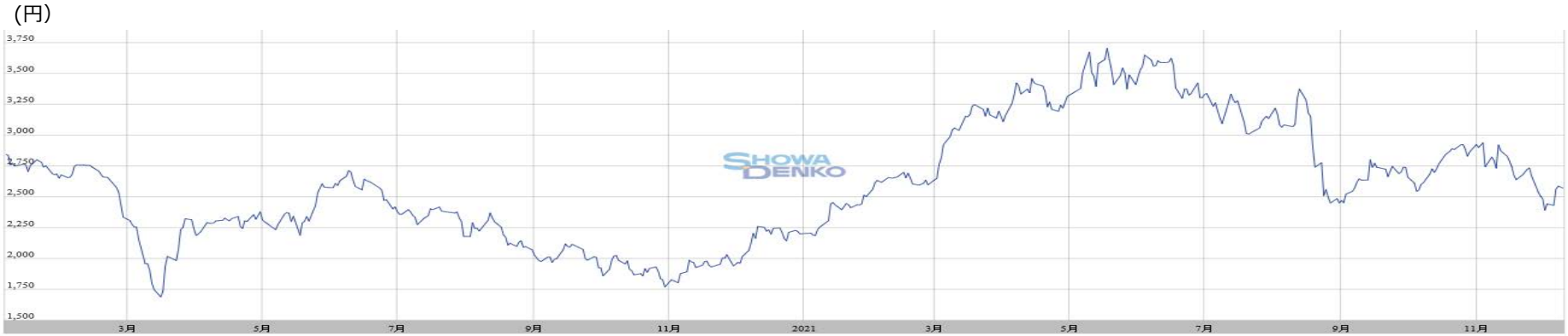
■ 株式情報

上場取引所	東京証券取引所　市場第一部
証券コード	4004　（化学） 「日経225」「JPX日経インデックス400」構成銘柄
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当　12月31日 中間配当　6月30日
単元株式数	100株
発行済株式数 （2021年6月30日現在）	149,711,292株 （新株式発行により2021年10月末時点で184,901,292株）
株主数 （2021年6月30日現在）	75,013名
株式名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社

【所有者別株式状況】
（2021年6月30日現在）



■ 株価推移（2020年1月～2021年12月10日）



ご参考：IRホームページのご紹介

IRサイト:https://www.sdk.co.jp/ir.html

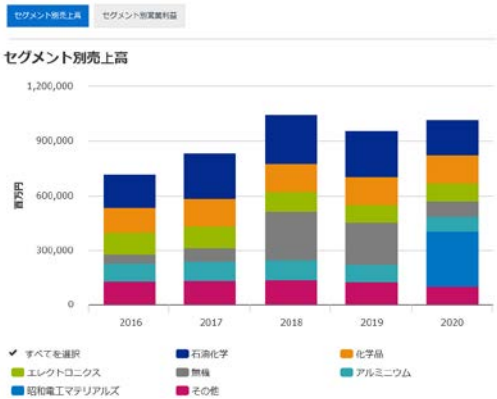
開示資料の他、財務ツール、当社概要をまとめたコンテンツなど、様々な情報を発信しています。

おすすめコンテンツ

〔5分でわかるSHOWA DENKO〕

当社の歴史や概要などをご紹介しています。

〔業績推移（財務分析ツール〕



指標を選択してグラフ表示が可能です。

プレスリリース等のIR情報をご希望の方にメール配信しております。
https://www.sdk.co.jp/ir/ir_mail.html
ご登録ください↓

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.

〔注意事項〕
本資料は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものであり、業績予測や事業・製品の開発計画を含みます。当社は業績予測、事業・製品の開発計画の実現性について責任を負いません。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績に影響を与える要素には、新型コロナウィルス感染症拡大が世界経済に与える影響、経済情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極等製品の需要動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

©SHOWA DENKO K.K. All Rights Reserved.